

# 7月28日（土）滋賀大学による「地域活性化プランナー 学び直し塾」から現地視察研修で「下田学区まちづくり協議会」に約30名の受講者の方と湖南市の関係者の方が来られました。（下田南区集会所にて）

この「地域活性化プランナー 学び直し塾」は行政と市民が協働して共に治める地域ガバナンス（統治）の確立のため、地域政策の立案向上を目指す「地域活性化プランナー」として資格認定することを目的としています。



下田まち協峰会長から挨拶と下田学区の現状の説明がありました。



防災研修会 平成29年7月23日（日）開催



最近多く発生する災害、地震災害、津波災害、豪雨に因った豪雨による土砂災害、日本各地で発生しています。他人まで被害を及ぼさない災害、いつ起こるか分からない災害、多くの人が思っている、公衆の輿論と自然、公共の重要性、いとと争う前に自分の命は自分で守る「自分で守れなければならない命は、誰かが守る」、又「誰かを守らなければならない命は、自分で守るべきか」とも思っています。そうであれば地域は守れない、そのような地域が徐々に発生してきています。日頃の地道な防災活動がそうした地域を発生させていると思えます。そうしたことから、これからは、各段での地道な防災活動を続けて欲しいと思えます。

泥りんピック 平成30年7月22日（日）開催



お月見コンサート 平成29年9月2日（土）開催



毎年恒例になったお月見コンサート、昨年度は「日根神社の境内」で趣向な音響機材の中で開催されました。200人近い参加者の方、三味線演奏からグループサウンズ、ハワイアンダンスまで盛りだくさんで行われました。各地で豪雨や地震による災害も大変な事が起こっていますが、そんな中、お月見コンサートで皆さんと一緒に楽しむ事は、ほかにないものにも代えがたいと思えました。



谷広報担当から、下田まち協の過去の活動報告を行いました。



受講者の方から、各種質問がありました。

峰会長から現状と課題等を答えました。

「地域主権一括法」が交付されて以来、地域の事は自ら決め、実行し、責任を取る地域自立の態勢づくりが緊急の課題となっています。そのことから「行政と市民が協働して共に治める地域」を目指し、「地域活性化プランナー 学び直し塾」で色々な観点からカリキュラムが組まれています。その一環として、現地視察研修があります。そこで「下田学区まちづくり協議会」が選ばれ視察対象になりました。

下田まち協の活動報告をした後、それに対する色々な質問があり、下田まち協峰会長が現状と課題等とこれからの「地域活性化プランナー」に期待したい旨感想を述べて閉会となりました。こうして「下田学区まちづくり協議会」が現地視察の対象に選ばれたということは、下田まち協の活動がある程度注目されているとの認識で、自信を持って進めて行って良いのではないのでしょうか。